

私たちの医療費新聞

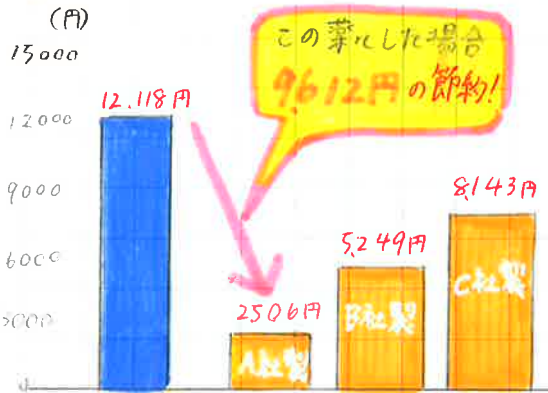
発行者 春日中学校 二年四組 土田 悠々化

高騰する医療費、向き合う

今の日本では、年々医療費が上がっていき、今は約四十四兆円にもなっています。その理由に人口の高齢化、医療の進歩、薬剤価格が高い、受診回数が多いなどがあげられます。医療費削減のために私たちができることは、いったいどんなことなのでしょう。

ジェネリック医薬品の利用

「ジェネリック医薬品」とは、新薬の特許期間が切れたあとに、新薬と同じ有効成分を使用し、効き目・安全性が新薬と同等であることを国が厳しく審査し承認された医薬品のことです。



れた医薬品のことで、ジェネリック医薬品は新薬に比べて二割以上、なかには五割以上も安くなります。

正しく病院にかかろう

医療費を削減するためには、病院にかかることも気を付ける必要があります。医療費を削減するためには、①かかりつけ医を持つ、②診療時間内に受診しよう、③重複受診は避けよう、④迷惑が掛らないようにしよう。

医療費を削減するためには、病院にかかることも気を付ける必要があります。医療費を削減するためには、①かかりつけ医を持つ、②診療時間内に受診しよう、③重複受診は避けよう、④迷惑が掛らないようにしよう。

「①かかりつけ医を持つ」とは、何かの病気で悩んだときに、かかりつけ医に相談し、適切な治療を受けることです。かかりつけ医は、あなたの病状を詳しく知り、適切な治療をしてくれます。

「②診療時間内に受診しよう」とは、病院の受付時間や診察時間を守り、医師の診察を受けることです。夜間や休日には、救急医療の妨げになるので、平日の時間内に受診を心がけましょう。

「③重複受診は避けよう」とは、同じ病気で、複数の医療機関を転々と受診することや、同じ検査を受けるのを避け、必要最小限の検査を受けることです。

「④迷惑が掛らないようにしよう」とは、処方された薬を飲み残さず、医師の指示通りに服用することや、処方された薬を他人に譲渡しないことです。

「⑤迷惑が掛らないようにしよう」とは、処方された薬を飲み残さず、医師の指示通りに服用することや、処方された薬を他人に譲渡しないことです。

「残薬問題」について。本来飲むべきだった薬を飲み残したり、飲み残した薬をそのまま放置したりするのは、健康に悪影響を及ぼす可能性があります。処方された薬は、医師の指示通りに服用し、飲み残した薬は適切に処分しましょう。

自分達が何気なく行っていた診察や、飲んでた薬にもすべて「医療費」というものがかかっていると知れ、改めて医療について気がおさまった。これからは医療費を少しでも減らしていき、今回おぼれた自分たちができることとしてみようかなと思った。また、生活習慣を良くして、いつでも健康でいられるようにしたいと思った。